

地域医療体験研修（冬期）

実施報告書

相双地域の“今”を見て！聞いて！感じて！ください



研修日：平成26年3月6日（木）～7日（金）

福島県相双保健福祉事務所

研修概要

3月6日（木）から7日（金）の2日間、医学生4名が参加し、「地域医療体験研修（冬期）」を安達郡大玉村、南相馬市、相馬市及び新地町において実施しました。

東日本大震災により県内で最も大きな被害を受けた相双地域における医療の現状について、医療機関や被災地の視察等を通して、地域医療の現状や対応について理解を深めるとともに、関心を高めてもらうために実施したものです。

研修日程表

月／日	時間	内容	市町村
3/6（木）	11：00～12：00	富岡町大玉仮設診療所視察	大玉村
	14：00～14：45	南相馬市博物館見学	南相馬市
	15：00～17：00	南相馬市立総合病院視察	
	18：30～21：00	医療従事者等との懇談会	
3/7（金）	8：50～9：10	津波被災地視察（南相馬市小高区内）	
	10：00～10：40	いちご狩り体験	相馬市
	11：00～12：00	渡辺病院視察	新地町



3月6日宿所



貸し切りバスで移動

3月6日（木曜日）

富岡町大玉仮設診療所視察



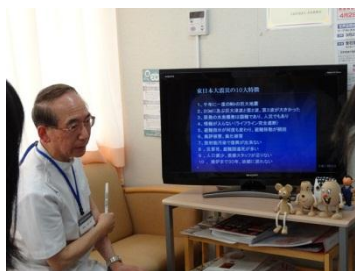
富岡町大玉仮設診療所



診察状況の視察



診察状況の視察



講話



講話



富岡町大玉村安達太良応急仮設住宅

富岡町民が居住している大玉村の仮設住宅の一角に開設されている、富岡町大玉仮設診療所では、診療所の井坂医師の診察の様子を見学するとともに、震災直後から現在に至るまでの診療の状況についての講話がありました。

また、受診していた住民の方から、仮設住宅での生活の様子などを伺いました。

南相馬市博物館見学



南相馬市博物館



相馬野馬追神旗争奪戦ジオラマ

南相馬市博物館では、南相馬市の歴史や文化等をまとめたビデオの視聴や相馬野馬追の山場である神旗争奪戦を再現したジオラマをはじめとする展示物を見学し、当地域の自然や歴史、伝統文化を学びました。

南相馬市立総合病院視察



南相馬市立総合病院



院長講話



院長講話



ホールボディカウンター室の見学



検査方法等の説明



化学療法室の見学

南相馬市立総合病院では、金澤院長からの震災直後の病院の対応状況等に関する講話のほか、ホールボディカウンターの検査室や化学療法室を見学しました。

医療従事者等との懇談会



相馬郡医師会の樋口会長及び南相馬市立総合病院の金澤院長をお招きし、地域医療に対する考え方や震災対応を含めた様々な体験談などを拝聴するとともに意見交換を行いました。

3月7日（金曜日）

被災地視察（南相馬市小高区村上地区）



当所職員の説明を聞く学生



工事に使う土嚢



津波で被災した建物

津波により被災した南相馬市小高区の沿岸部を視察し、堤防工事に用いる土嚢が準備されているなど復旧工事が進んでいる一方で、被害を受けた建物が一部残ったままになっている現状を確認しました。

いちご狩り



水耕栽培のいちご



相馬市の和田観光いちご園でいちご狩りを体験しました。この施設は津波被害を受けましたが、現在は既にその面影はなく、多くの入園者で賑わっており、復興の一端を垣間見ることができました。

渡辺病院視察



渡辺病院



院長講話



入院病棟の見学



リハビリ室の見学



手術室の見学

渡辺病院は、南相馬市から新地町に移転新築し、平成26年3月10日に開院予定となっており、渡辺院長からの新病院の開設の経緯等に関する講話と病院内の視察を行いました。開院前であったため、入院病棟や手術室のほか、CTやMRI等の医療機器が設置してある部屋など、患者が利用中には見学できない箇所も見学させていただきました。

参加した学生の皆様からの感想

- この研修を通して私がもっとも印象に残っていることは富岡町仮設診療所の訪問です。大玉村内の富岡町仮設診療所は安達太良山の麓にありました。診療の現場も見学させていただきましたが、患者さんの多くは仮設暮らしによる運動不足や精神的苦痛が深刻なようでした。そのような患者さんに対し、お医者さんはとても丁寧に診療を行っており、私もそのような医師になりたいと強く感じました。また、仮設住民の方々に仮設住宅を見せていただけたのもとてもよかったです。仮設住宅の中にはキッチン以外に2つの部屋がありましたが、確かに狭く、床も底冷えするので、大変な思いをして生活なさっていることが分かりました。報道では、仮設住宅ではもとの町のコミュニティーが維持されていると伝えられることが多いですが、今回訪問した仮設住宅では必ずしもそのようにはなっていないとのことでした。1日も早く少しでも多くの方々が震災以前の生活を取り戻せればと思います。

また、渡辺病院の視察もとても勉強になりました。渡辺病院は大正時代から相双地域の医療を担っている歴史ある病院です。長らく南相馬に病院がありましたが、大震災を契機に新地町への移転を決断し、私たちが訪問した時は新病院開院直前でした。開院前の病院を見学させていただくという、とても貴重な経験ができて、よかったですと思います。病院には最新の設備が整っており、近くの公園にはドクターヘリが発着可能な場所もありました。病院内で私がもっともすごいと感じたことは、入院病棟です。入院する場合、4人部屋に入ると、通常出入り口の方は窓から遠く、日光を浴びたり、外の景色を眺めることは困難です。しかし、渡辺病院では4人全員が苦勞することなく、外の景色を見るためにある工夫がなされていました。それを文章で伝えるのは難しいので、実際に見学に行ってみてください。

この研修では多くの医学生と交流できることも魅力です。様々な大学、学年から多くの方が集まります。また、予備知識も全く要りません。少しでも地域医療災害医療に興味があれば十分楽しめます。普段の机上の勉強では学べないこともたくさん学べます。また、普段の勉強に対するモチベーションも上がります。是非参加してみてください！！

- 仮設住宅は何度か見せていただいたことがありましたが、大人2人～3人が暮らすにはとても狭く、運動不足になることが容易に想像できます。仮設の病院はありますが、診療の曜日や時間は限られており、仮設住宅に住む方々が健康面でも大きな不安を抱えていることが肌で感じられました。

震災時は他県の医療機関とも連携することや、仮設住宅の設置の段階から医療設備も組み込むことなど、これから医療人として取り組まなくてはいけない課題が見えてきました。

いちごや海鮮料理などの食べ物もおいしく、新しい病院も建設されるなど、相双地区の復興は着実に進んでいます。私は福島出身で将来は福島の医療に関わりたいと考えているので、今回の研修で相双地区の医療にとっても興味を持ちました。

- 私は今回初めて福島県の地域医療研修に参加しました。私にとって、今回の研修は、地域医療とともに、震災時の医療、被災地での医療を学ぶことができる、とても興味深いものでした。今回見学した富岡町大玉仮設診療所では仮設住宅に住む人々の運動不足、高血圧、糖尿病などの慢性疾患が問題となっていて、震災から3年という時間が経過しているにも関わらず、いまだに仮設住宅に人々が住んでいるという現実をもっと深刻に考えなければならぬと思いました。

また、南相馬市立総合病院では、震災時の医療について実際に行ったこと、そのときの問題点、課題について教えていただきました。特に、通信手段の確保、備蓄、医師、看護師の人数の確保が重要だということで、このことは、今後の医療にしっかり生かしていかなければならないと感じました。

渡辺病院では、新しい設備や、外来の人や検診の人への配慮がしっかりされている様子を見学できて、今後の参考になりました。

今回の研修を通して、私は自分の認識の甘さを改めて実感しました。3.11のことは今後医療に携わるものとして決して忘れてはいけないし、風化させてはならないと感じました。今回の研修で学んだことを今後に生かせるようにがんばろうと思いました。

- 地域医療体験研修に参加したのは夏に続き2回目であったが、相双地域に足を運んだのは初めてだった。震災後、様々な“想定外”の出来事に対処してきた医療従事者の方々や地域住民の方々のお話を伺い、震災がもたらした被害の大きさを改めて実感することができ、また、いまだに不自由な生活を強いられている現状も知ることができた。今回の研修でもっとも印象的だったのは、南相馬市立総合病院の金澤先生の「この地域に人を呼び戻すには雇用と医療が必要。看護師や医師を呼び込むには、まず、南相馬を全国にPRし、現状を知ってもらう必要がある」という言葉だった。震災からちょうど3年。テレビや新聞で連日被災地についての報道がなされているが、被災地以外では、震災の記憶が風化してきているように思える。3年も仮設住宅での生活を強いられたり、居住が制限され、流された家々がそのままの姿で残されている光景は、非常に衝撃的だった。

今後、一人でも多く地域医療研修の存在を知ってもらい、この地域に足を運んでもらいたいと思っている。



南相馬市立総合病院の視察

平成25年度

平成26年3月

地域医療体験研修（冬期）実施報告

編集・発行

福島県相双保健福祉事務所 総務企画部総務企画課

〒975-0031 南相馬市原町区錦町1丁目30番地

電話 0244-26-1326

FAX 0244-26-1332

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21160a/>

E-mail:sousou.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp
